

平成 27 年度 病院事業決算状況

都道府県名 神奈川県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	足柄上病院	2	三浦市	市立病院	20
-	汐見台病院	3	厚木市	市立病院	21
-	精神医療センター	4	大和市	市立病院	22
-	がんセンター	5			
-	循環器呼吸器病センター	6			
-	こども医療センター	7			
横浜市	市民病院	8			
横浜市	みなと赤十字病院	9			
横浜市	脳卒中・神経脊椎センター	10			
川崎市	川崎病院	11			
川崎市	井田病院	12			
川崎市	多摩病院	13			
横須賀市	市民病院	14			
横須賀市	うわまち病院	15			
平塚市	平塚市民病院	16			
藤沢市	藤沢市民病院	17			
小田原市	市立病院	18			
茅ヶ崎市	市立病院	19			

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	足柄上病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,214	
決算規模(千円)	2,006,372,139	
標準財政規模(千円)	1,418,896,657	
財政力指数	0.91745	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	132.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	126,252			
1 経常収益	126,252			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	126,252			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	126,252			
2 経常費用	126,252			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	57.6
材料費	-	-	24.1	20.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.8
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	27.2
(うち委託料)	-	-	10.8	11.2
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	126,252			
(うち支払利息)	126,252	-	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	6,177,969			
経常収支比率	100.0		98.7	96.6
医業収支比率	-		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	101,366	37.5
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2309.5
健全化法上の資金不足額(千円)	100,543
健全化法上の資金不足比率(%)	2.8
地財法上の資金不足額(千円)	100,543
地財法上の資金不足比率(%)	37.2

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	
	病院名	汐見台病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,399 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	225	59.4	71.9	74.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	225	59.4	71.9	74.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	12.5	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,214	
決算規模(千円)	2,006,372,139	
標準財政規模(千円)	1,418,896,657	
財政力指数	0.91745	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	132.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,456,048			
1 経常収益	804,129			
(1) 医業収益	270,255			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	270,255			
(うち他会計負担金)	257,460			
(2) 医業外収益	533,874			
(うち国・都道府県補助金)	747			
(うち他会計補助・負担金)	488,625			
(うち長期前受金戻入)	34,444			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,651,919			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,605,298			
2 経常費用	982,396			
(1) 医業費用	946,346			
職員給与費	-	-	54.5	57.6
材料費	-	-	24.1	20.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.8
減価償却費	185,767	68.7	9.0	9.3
経費	757,009	280.1	23.3	27.2
(うち委託料)	3,351	1.2	10.8	11.2
研究研修費	-			
資産減耗費	3,570			
(2) 医業外費用	36,050			
(うち支払利息)	31,040	11.5	1.9	2.1
(3) 特別損失	2,622,902			
経常損益	-178,267			
純損益	-1,149,250			
累積欠損金	6,241,580			
経常収支比率	81.9		98.7	96.6
医業収支比率	28.6		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	92.8		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	276.1		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	30.4		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	5.9		86.8	83.9

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,579,490
1 固定資産	1,874,032
(1) 有形固定資産	1,832,839
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	41,193
2 流動資産	1,705,458
(1) 現金及び預金	1,698,820
(2) 未収金及び未収収益	6,638
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,374,765
1 固定負債	187,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	187,529
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,888,141
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	81,317
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	823
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,427
(9) 前受金及び前受収益	1,802,574
3 繰延収益	299,095
(1) 長期前受金	1,769,042
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,469,947
資本合計	1,204,725
1 資本金	6,903,829
2 剰余金	-5,699,104
(1) 資本剰余金	542,476
(2) 利益剰余金	-6,241,580
負債・資本合計	3,579,490
不良債務	101,366
実質資金不足額	101,366
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.4
修正医業収支金額(千円)	12,795

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	690,052	746,085
資本勘定繰入	84,053	84,053
計	774,105	830,138

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	101,366	37.5
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2309.5
健全化法上の資金不足額(千円)	100,543
健全化法上の資金不足比率(%)	2.8
地財法上の資金不足額(千円)	100,543
地財法上の資金不足比率(%)	37.2

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	9,126,214	
決算規模（千円）	2,006,372,139	
標準財政規模（千円）	1,418,896,657	
財政力指数	0.91745	
経常収支比率（%）	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.0
	将来負担比率（%）	132.3

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,054			
1 経常収益	4,054			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,054			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,054			
2 経常費用	4,054			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	92.3
材料費	-	-	24.1	9.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	6.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	1.1
減価償却費	-	-	9.0	12.2
経費	-	-	23.3	32.5
(うち委託料)	-	-	10.8	15.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	4,054			
(うち支払利息)	4,054	-	1.9	3.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	212,726			
経常収支比率	100.0		98.7	99.9
医業収支比率	-		89.5	68.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	32.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	50.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	32.2
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	67.4

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	101,366	37.5
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	2309.5
健全化法上の資金不足額（千円）	100,543
健全化法上の資金不足比率（%）	2.8
地財法上の資金不足額（千円）	100,543
地財法上の資金不足比率（%）	37.2

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	がんセンター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,214	
決算規模(千円)	2,006,372,139	
標準財政規模(千円)	1,418,896,657	
財政力指数	0.91745	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	132.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,304			
1 経常収益	6,304			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,304			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,304			
2 経常費用	6,304			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	53.1
材料費	-	-	24.1	25.1
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.8
減価償却費	-	-	9.0	8.8
経費	-	-	23.3	21.3
(うち委託料)	-	-	10.8	8.7
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	6,304			
(うち支払利息)	6,304	-	1.9	1.8
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	126,058			
経常収支比率	100.0		98.7	98.7
医業収支比率	-		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	88.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	101,366	37.5
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2309.5
健全化法上の資金不足額(千円)	100,543
健全化法上の資金不足比率(%)	2.8
地財法上の資金不足額(千円)	100,543
地財法上の資金不足比率(%)	37.2

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	循環器呼吸器病センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	9,126,214	
決算規模（千円）	2,006,372,139	
標準財政規模（千円）	1,418,896,657	
財政力指数	0.91745	
経常収支比率（%）	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.0
	将来負担比率（%）	132.3

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	97,179			
1 経常収益	97,179			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	97,179			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	97,179			
2 経常費用	97,179			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	57.6
材料費	-	-	24.1	20.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.8
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	27.2
(うち委託料)	-	-	10.8	11.2
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	97,179			
(うち支払利息)	97,179	-	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,877,802			
経常収支比率	100.0		98.7	96.6
医業収支比率	-		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.9

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	101,366	37.5
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	2309.5
健全化法上の資金不足額（千円）	100,543
健全化法上の資金不足比率（%）	2.8
地財法上の資金不足額（千円）	100,543
地財法上の資金不足比率（%）	37.2

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	こども医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,214	
決算規模(千円)	2,006,372,139	
標準財政規模(千円)	1,418,896,657	
財政力指数	0.91745	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	132.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	181,277			
1 経常収益	181,277			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	181,277			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	181,277			
2 経常費用	181,277			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	53.1
材料費	-	-	24.1	25.1
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.8
減価償却費	-	-	9.0	8.8
経費	-	-	23.3	21.3
(うち委託料)	-	-	10.8	8.7
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	181,277			
(うち支払利息)	181,277	-	1.9	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	8,381,081			
経常収支比率	100.0		98.7	98.7
医業収支比率	-		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	88.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	101,366	37.5
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2309.5
健全化法上の資金不足額(千円)	100,543
健全化法上の資金不足比率(%)	2.8
地財法上の資金不足額(千円)	100,543
地財法上の資金不足比率(%)	37.2

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	横浜市
	病院名	市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	42,124 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地
診療科数	33	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	624	88.6	88.7	88.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	26	-	-	-
計	650	85.1	85.2	84.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	12.0	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	3,724,844	
決算規模(千円)	1,501,290,070	
標準財政規模(千円)	814,374,931	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.0
	将来負担比率(%)	175.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,246,741			
1 経常収益	20,246,741			
(1) 医業収益	18,629,415			
入院収益	13,191,769			
外来収益	4,730,631			
診療収入計	17,922,400			
その他医業収益	707,015			
(うち他会計負担金)	182,306			
(2) 医業外収益	1,617,326			
(うち国・都道府県補助金)	62,290			
(うち他会計補助・負担金)	870,005			
(うち長期前受金戻入)	394,075			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,887,353			
2 経常費用	19,930,783			
(1) 医業費用	19,279,240			
職員給与費	9,358,892	50.2	54.5	49.7
材料費	4,895,976	26.3	24.1	27.4
(うち薬品費)	2,498,256	13.4	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,284,219	12.3	11.0	12.6
減価償却費	969,834	5.2	9.0	8.6
経費	3,976,347	21.3	23.3	20.4
(うち委託料)	1,627,492	8.7	10.8	11.0
研究研修費	54,678			
資産減耗費	23,513			
(2) 医業外費用	651,543			
(うち支払利息)	59,979	0.3	1.9	1.7
(3) 特別損失	956,570			
経常損益	315,958			
純損益	-640,612			
累積欠損金	3,639,526			
経常収支比率	101.6		98.7	100.0
医業収支比率	96.6		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	5.2		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	96.3		86.8	90.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	69,932,391
1 固定資産	63,089,320
(1) 有形固定資産	61,836,734
(2) 無形固定資産	506,300
(3) 投資その他の資産	746,286
2 流動資産	6,843,071
(1) 現金及び預金	1,963,600
(2) 未収金及び未収収益	4,656,612
(3) 貸倒引当金()	10,504
(4) 貯蔵品	195,008
3 繰延資産	-
負債合計	64,118,757
1 固定負債	52,807,710
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,230,433
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,577,277
(7) リース債務	-
2 流動負債	8,714,808
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,077,837
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	937,497
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,628,183
(9) 前受金及び前受収益	709
3 繰延収益	2,596,239
(1) 長期前受金	9,160,204
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,563,965
資本合計	5,813,634
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-31,703,438
(1) 資本剰余金	7,556,546
(2) 利益剰余金	-39,259,984
負債・資本合計	69,932,391
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.7
修正医業収支金額(千円)	18,447,109

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,052,311	1,052,311
資本勘定繰入	945,437	936,620
計	1,997,748	1,988,931

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	165.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	横浜市
	病院名	みなと赤十字病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	74,148 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地
診療科数	36	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	584	83.9	86.4	86.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	62.9	58.5	59.6
感染症	-	-	-	-
計	634	82.2	84.2	84.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	11.2	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	3,724,844	
決算規模(千円)	1,501,290,070	
標準財政規模(千円)	814,374,931	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.0
	将来負担比率(%)	175.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,740,972			
1 経常収益	2,740,750			
(1) 医業収益	61,292			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	61,292			
(うち他会計負担金)	61,292			
(2) 医業外収益	2,679,458			
(うち国・都道府県補助金)	57,168			
(うち他会計補助・負担金)	728,896			
(うち長期前受金戻入)	1,201,181			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	222			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,755,750			
2 経常費用	2,755,717			
(1) 医業費用	1,960,256			
職員給与費	-	-	54.5	49.7
材料費	-	-	24.1	27.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.6
減価償却費	1,552,380	2532.8	9.0	8.6
経費	405,534	661.6	23.3	20.4
(うち委託料)	-	-	10.8	11.0
資産減耗費	2,342			
(2) 医業外費用	795,461			
(うち支払利息)	675,121	1101.5	1.9	1.7
(3) 特別損失	33			
損益				
経常損益	-14,967			
純損益	-14,778			
累積欠損金	12,363,846			
経常収支比率	99.5		98.7	100.0
医業収支比率	3.1		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	28.8		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	1289.2		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	28.8		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	70.8		86.8	90.9

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	69,932,391
1 固定資産	63,089,320
(1) 有形固定資産	61,836,734
(2) 無形固定資産	506,300
(3) 投資その他の資産	746,286
2 流動資産	6,843,071
(1) 現金及び預金	1,963,600
(2) 未収金及び未収収益	4,656,612
(3) 貸倒引当金()	10,504
(4) 貯蔵品	195,008
3 繰延資産	-
負債合計	64,118,757
1 固定負債	52,807,710
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,230,433
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,577,277
(7) リース債務	-
2 流動負債	8,714,808
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,077,837
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	937,497
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,628,183
(9) 前受金及び前受収益	709
3 繰延収益	2,596,239
(1) 長期前受金	9,160,204
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,563,965
資本合計	5,813,634
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-31,703,438
(1) 資本金剰余金	7,556,546
(2) 利益剰余金	-39,259,984
負債・資本合計	69,932,391
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	776,575	790,188
資本勘定繰入	1,179,474	1,404,595
計	1,956,049	2,194,783

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	165.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	横浜市
				病院名	脳卒中・神経脊椎センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,737 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	10	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	300	82.0	77.1	71.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	82.0	77.1	71.0
平均在院日数（一般病床のみ）		31.5	32.6	36.1

設立団体の状況		
人口（人）	3,724,844	
決算規模（千円）	1,501,290,070	
標準財政規模（千円）	814,374,931	
財政力指数	0.97	
経常収支比率（%）	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	17.0
	将来負担比率（%）	175.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	71.8
修正医業収支金額（千円）	4,897,046

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,552,919			
1 経常収益	7,552,919			
(1) 医業収益	5,000,109			
入院収益	4,312,360			
外来収益	538,701			
診療収入計	4,851,061			
その他医業収益	149,048			
(うち他会計負担金)	103,063			
(2) 医業外収益	2,552,810			
(うち国・都道府県補助金)	530			
(うち他会計補助・負担金)	1,939,597			
(うち長期前受金戻入)	440,659			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,729,187			
2 経常費用	7,331,066			
(1) 医業費用	6,823,901			
職員給与費	3,524,334	70.5	54.5	55.3
材料費	834,204	16.7	24.1	24.2
(うち薬品費)	257,642	5.2	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	488,124	9.8	11.0	11.5
減価償却費	725,671	14.5	9.0	8.8
経費	1,718,445	34.4	23.3	21.7
(うち委託料)	811,703	16.2	10.8	10.3
研究研修費	10,582			
資産減耗費	10,665			
(2) 医業外費用	507,165			
(うち支払利息)	332,219	6.6	1.9	2.1
(3) 特別損失	398,121			
損益				
経常損益	221,853			
純損益	-176,268			
累積欠損金	23,256,612			
経常収支比率	103.0		98.7	97.6
医業収支比率	73.3		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	27.0		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	40.9		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	27.0		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	75.2		86.8	86.9

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	69,932,391
1 固定資産	63,089,320
(1) 有形固定資産	61,836,734
(2) 無形固定資産	506,300
(3) 投資その他の資産	746,286
2 流動資産	6,843,071
(1) 現金及び預金	1,963,600
(2) 未収金及び未収収益	4,656,612
(3) 貸倒引当金（ ）	10,504
(4) 貯蔵品	195,008
3 繰延資産	-
負債合計	64,118,757
1 固定負債	52,807,710
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,230,433
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,577,277
(7) リース債務	-
2 流動負債	8,714,808
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,077,837
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	937,497
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,628,183
(9) 前受金及び前受収益	709
3 繰延収益	2,596,239
(1) 長期前受金	9,160,204
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	6,563,965
資本合計	5,813,634
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-31,703,438
(1) 資本剰余金	7,556,546
(2) 利益剰余金	-39,259,984
負債・資本合計	69,932,391
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,042,660	2,042,660
資本勘定繰入	796,244	796,244
計	2,838,904	2,838,904

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	165.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	川崎市
				病院名	川崎病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	49,890 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
診療科数	29	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	663	76.1	74.6	76.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	59.1	69.1	68.9
感染症	12	-	-	-
計	713	73.9	73.1	74.8
平均在院日数（一般病床のみ）		12.5	12.2	12.4

設立団体の状況		
人口（人）	1,475,213	
決算規模（千円）	602,636,174	
標準財政規模（千円）	309,069,873	
財政力指数	1.00	
経常収支比率（%）	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.5
	将来負担比率（%）	117.4

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,102,156			
1 経常収益	19,573,505			
(1) 医業収益	16,758,004			
入院収益	11,291,687			
外来収益	4,175,232			
診療収入計	15,466,919			
その他医業収益	1,291,085			
(うち他会計負担金)	1,019,285			
(2) 医業外収益	2,815,501			
(うち国・都道府県補助金)	39,559			
(うち他会計補助・負担金)	1,935,706			
(うち長期前受金戻入)	439,831			
(うち資本費繰入収益)	173,739			
(3) 特別利益	528,651			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,246,546			
2 経常費用	19,093,599			
(1) 医業費用	18,165,147			
職員給与費	7,890,410	47.1	54.5	49.7
材料費	3,655,242	21.8	24.1	27.4
(うち薬品費)	1,759,898	10.5	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,779,423	10.6	11.0	12.6
減価償却費	1,180,748	7.0	9.0	8.6
経費	5,322,013	31.8	23.3	20.4
(うち委託料)	2,459,335	14.7	10.8	11.0
研究研修費	67,005			
資産減耗費	49,729			
(2) 医業外費用	928,452			
(うち支払利息)	379,750	2.3	1.9	1.7
(3) 特別損失	152,947			
損益				
経常損益	479,906			
純損益	855,610			
累積欠損金	6,922,209			
経常収支比率	102.5		98.7	100.0
医業収支比率	92.3		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	15.1		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	17.6		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	14.7		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	87.0		86.8	90.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	60,248,166
1 固定資産	51,796,324
(1) 有形固定資産	51,791,074
(2) 無形固定資産	5,250
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	8,451,842
(1) 現金及び預金	4,303,554
(2) 未収金及び未収収益	4,089,789
(3) 貸倒引当金（ ）	64,938
(4) 貯蔵品	123,437
3 繰延資産	-
負債合計	69,460,486
1 固定負債	60,075,088
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,284,096
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,761,428
(7) リース債務	29,564
2 流動負債	8,153,467
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,487,441
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	755,700
(6) リース債務	22,927
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,737,507
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,231,931
(1) 長期前受金	8,356,471
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	7,124,540
資本合計	-9,212,320
1 資本金	15,825,754
2 剰余金	-25,038,074
(1) 資本金剰余金	1,133,237
(2) 利益剰余金	-26,171,311
負債・資本合計	60,248,166
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	9,212,320
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	7,980,389
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	86.6
修正医業収支金額（千円）	15,738,719

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,929,022	2,954,991
資本勘定繰入	1,196,918	1,196,918
計	4,125,940	4,151,909

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	103.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	川崎市
	病院名	井田病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	36,071 m ²	指定病院の状況	救臨が 輪
診療科数	35	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	343	76.2	66.0	71.8
療養	-	-	-	-
結核	40	45.3	46.6	44.6
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	383	73.0	64.0	69.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	12.2	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	1,475,213	
決算規模(千円)	602,636,174	
標準財政規模(千円)	309,069,873	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	117.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.5
修正医業収支金額(千円)	7,211,674

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,143,105			
1 経常収益	9,129,750			
(1) 医業収益	7,488,524			
入院収益	4,569,616			
外来収益	2,432,909			
診療収入計	7,002,525			
その他医業収益	485,999			
(うち他会計負担金)	276,850			
(2) 医業外収益	1,641,226			
(うち国・都道府県補助金)	12,381			
(うち他会計補助・負担金)	1,274,248			
(うち長期前受金戻入)	52,201			
(うち資本費繰入収益)	223,060			
(3) 特別利益	13,355			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,488,490			
2 経常費用	10,461,689			
(1) 医業費用	9,942,431			
職員給与費	4,308,063	57.5	54.5	55.3
材料費	1,748,704	23.4	24.1	24.2
(うち薬品費)	928,823	12.4	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	761,367	10.2	11.0	11.5
減価償却費	1,129,118	15.1	9.0	8.8
経費	2,735,380	36.5	23.3	21.7
(うち委託料)	1,166,884	15.6	10.8	10.3
研究研修費	18,534			
資産減耗費	2,632			
(2) 医業外費用	519,258			
(うち支払利息)	253,579	3.4	1.9	2.1
(3) 特別損失	26,801			
損益				
経常損益	-1,331,939			
純損益	-1,345,385			
累積欠損金	15,544,449			
経常収支比率	87.3		98.7	97.6
医業収支比率	75.3		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.0		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	20.7		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	17.0		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	72.4		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,248,166
1 固定資産	51,796,324
(1) 有形固定資産	51,791,074
(2) 無形固定資産	5,250
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	8,451,842
(1) 現金及び預金	4,303,554
(2) 未収金及び未収収益	4,089,789
(3) 貸倒引当金()	64,938
(4) 貯蔵品	123,437
3 繰延資産	-
負債合計	69,460,486
1 固定負債	60,075,088
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,284,096
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,761,428
(7) リース債務	29,564
2 流動負債	8,153,467
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,487,441
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	755,700
(6) リース債務	22,927
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,737,507
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,231,931
(1) 長期前受金	8,356,471
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,124,540
資本合計	-9,212,320
1 資本金	15,825,754
2 剰余金	-25,038,074
(1) 資本金剰余金	1,133,237
(2) 利益剰余金	-26,171,311
負債・資本合計	60,248,166
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	9,212,320
資本不足額(繰延収益控除後)()	7,980,389
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,540,769	1,551,098
資本勘定繰入	323,341	323,341
計	1,864,110	1,874,439

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	103.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	川崎市
	病院名	多摩病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	376	81.0	78.2	77.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	376	81.0	78.2	77.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	10.6	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,475,213	
決算規模(千円)	602,636,174	
標準財政規模(千円)	309,069,873	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	117.4

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	35,620 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪
診療科数	31	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	46.2
修正医業収支金額(千円)	663,019

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,998,785			
1 経常収益	1,942,945			
(1) 医業収益	950,145			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	950,145			
(うち他会計負担金)	287,126			
(2) 医業外収益	992,800			
(うち国・都道府県補助金)	1,993			
(うち他会計補助・負担金)	521,313			
(うち長期前受金戻入)	469,457			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	55,840			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,826,937			
2 経常費用	1,822,633			
(1) 医業費用	1,434,767			
職員給与費	20,649	2.2	54.5	55.3
材料費	-	-	24.1	24.2
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.5
減価償却費	757,329	79.7	9.0	8.8
経費	652,909	68.7	23.3	21.7
(うち委託料)	21,224	2.2	10.8	10.3
研究研修費	-			
資産減耗費	3,880			
(2) 医業外費用	387,866			
(うち支払利息)	386,955	40.7	1.9	2.1
(3) 特別損失	4,304			
損益				
経常損益	120,312			
純損益	171,848			
累積欠損金	3,704,653			
経常収支比率	106.6		98.7	97.6
医業収支比率	66.2		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	41.6		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	85.1		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	40.4		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	62.2		86.8	86.9

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,248,166
1 固定資産	51,796,324
(1) 有形固定資産	51,791,074
(2) 無形固定資産	5,250
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	8,451,842
(1) 現金及び預金	4,303,554
(2) 未収金及び未収収益	4,089,789
(3) 貸倒引当金()	64,938
(4) 貯蔵品	123,437
3 繰延資産	-
負債合計	69,460,486
1 固定負債	60,075,088
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,284,096
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,761,428
(7) リース債務	29,564
2 流動負債	8,153,467
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,487,441
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	755,700
(6) リース債務	22,927
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,737,507
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,231,931
(1) 長期前受金	8,356,471
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,124,540
資本合計	-9,212,320
1 資本金	18,825,754
2 剰余金	-25,038,074
(1) 資本剰余金	1,133,237
(2) 利益剰余金	-26,171,311
負債・資本合計	60,248,166
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	9,212,320
資本不足額(繰延収益控除後)()	7,980,389
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	808,439	808,439
資本勘定繰入	633,828	633,828
計	1,442,267	1,442,267

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	103.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 「類似平均」については経営規模区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考:
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	横須賀市
	病院名	市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,943 m ²	指定病院の状況	救臨感災地輪
診療科数	29	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	476	47.6	46.4	43.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	482	47.0	45.8	43.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.8	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	406,586	
決算規模(千円)	140,584,917	
標準財政規模(千円)	82,014,445	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	55.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	697,200			
1 経常収益	697,200			
(1) 医業収益	403,708			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	403,708			
(うち他会計負担金)	384,000			
(2) 医業外収益	293,492			
(うち国・都道府県補助金)	8,221			
(うち他会計補助・負担金)	259,000			
(うち長期前受金戻入)	11,722			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,280,216			
2 経常費用	838,325			
(1) 医業費用	797,602			
職員給与費	30,125	7.5	54.5	53.1
材料費	-	-	24.1	25.1
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.8
減価償却費	585,373	145.0	9.0	8.8
経費	133,269	33.0	23.3	21.3
(うち委託料)	29,226	7.2	10.8	8.7
研究研修費	-			
資産減耗費	48,835			
(2) 医業外費用	40,723			
(うち支払利息)	37,126	9.2	1.9	1.8
(3) 特別損失	441,891			
損益				
経常損益	-141,125			
純損益	-583,016			
累積欠損金	6,926,510			
経常収支比率	83.2		98.7	98.7
医業収支比率	50.6		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	92.2		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	159.3		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	92.2		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	6.5		86.8	88.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,793,888
1 固定資産	14,043,797
(1) 有形固定資産	14,040,116
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,750,091
(1) 現金及び預金	2,672,242
(2) 未収金及び未収収益	74,092
(3) 貸倒引当金()	8,454
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,979,605
1 固定負債	5,956,433
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,593,360
(2) その他の企業債	312,686
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	50,387
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,158,021
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	804,756
(2) その他の企業債	312,686
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,868
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,501
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	865,151
(1) 長期前受金	1,883,593
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,018,442
資本合計	8,814,283
1 資本金	11,139,956
2 剰余金	-2,325,673
(1) 資本金剰余金	3,494,071
(2) 利益剰余金	-5,819,744
負債・資本合計	16,793,888
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.5
修正医業収支金額(千円)	19,708

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	685,749	643,000
資本勘定繰入	333,306	468,000
計	1,019,055	1,111,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	852.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	横須賀市
	病院名	うわまち病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,514 m ²	指定病院の状況	救臨地輪
診療科数	28	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	367	85.3	85.5	84.2
療養	50	93.4	96.1	96.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	86.3	86.8	85.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	10.8	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	406,586	
決算規模(千円)	140,584,917	
標準財政規模(千円)	82,014,445	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	55.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	4.2
修正医業収支金額(千円)	23,179

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	650,514			
1 経常収益	650,514			
(1) 医業収益	279,179			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	279,179			
(うち他会計負担金)	256,000			
(2) 医業外収益	371,335			
(うち国・都道府県補助金)	10,300			
(うち他会計補助・負担金)	134,000			
(うち長期前受金戻入)	66,199			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	624,759			
2 経常費用	624,759			
(1) 医業費用	550,343			
職員給与費	30,125	10.8	54.5	53.1
材料費	-	-	24.1	25.1
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.8
減価償却費	370,894	132.9	9.0	8.8
経費	145,932	52.3	23.3	21.3
(うち委託料)	26,109	9.4	10.8	8.7
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	3,392	-	-	-
(2) 医業外費用	74,416	-	-	-
(うち支払利息)	62,537	22.4	1.9	1.8
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	25,755			
純損益	25,755			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.1		98.7	98.7
医業収支比率	50.7		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	60.0		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	139.7		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	60.0		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	41.7		86.8	88.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,793,888
1 固定資産	14,043,797
(1) 有形固定資産	14,040,116
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,750,091
(1) 現金及び預金	2,672,242
(2) 未収金及び未収収益	74,092
(3) 貸倒引当金()	8,454
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,979,605
1 固定負債	5,956,433
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,593,360
(2) その他の企業債	312,686
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	50,387
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,158,021
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	804,756
(2) その他の企業債	312,686
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,868
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,501
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	865,151
(1) 長期前受金	1,883,593
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,018,442
資本合計	8,814,283
1 資本金	11,139,956
2 剰余金	-2,325,673
(1) 資本剰余金	3,494,071
(2) 利益剰余金	-5,819,744
負債・資本合計	16,793,888
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	501,229	390,000
資本勘定繰入	325,015	253,000
計	826,244	643,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	852.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	平塚市
	病院名	平塚市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	44,855 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪
診療科数	25	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	410	88.2	81.7	87.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	416	86.9	80.5	86.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.1	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	258,227	
決算規模(千円)	81,857,683	
標準財政規模(千円)	48,453,987	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.1
修正医業収支金額(千円)	10,632,147

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,084,239			
1 経常収益	11,949,717			
(1) 医業収益	11,277,937			
入院収益	7,579,997			
外来収益	2,779,928			
診療収入計	10,359,925			
その他医業収益	918,012			
(うち他会計負担金)	645,790			
(2) 医業外収益	671,780			
(うち国・都道府県補助金)	21,302			
(うち他会計補助・負担金)	384,386			
(うち長期前受金戻入)	68,850			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	134,522			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,092,011			
2 経常費用	11,968,419			
(1) 医業費用	11,544,060			
職員給与費	5,430,771	48.2	54.5	53.1
材料費	2,397,962	21.3	24.1	25.1
(うち薬品費)	1,094,973	9.7	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,302,989	11.6	11.0	11.8
減価償却費	686,764	6.1	9.0	8.8
経費	2,993,830	26.5	23.3	21.3
(うち委託料)	1,254,335	11.1	10.8	8.7
研究研修費	29,579			
資産減耗費	5,154			
(2) 医業外費用	424,359			
(うち支払利息)	145,497	1.3	1.9	1.8
(3) 特別損失	123,592			
損益				
経常損益	-18,702			
純損益	-7,772			
累積欠損金	3,993,922			
経常収支比率	99.8		98.7	98.7
医業収支比率	97.7		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	8.5		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	91.2		86.8	88.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,915,506
1 固定資産	15,685,496
(1) 有形固定資産	14,613,093
(2) 無形固定資産	190,544
(3) 投資その他の資産	881,859
2 流動資産	3,230,010
(1) 現金及び預金	742,712
(2) 未収金及び未収収益	2,540,079
(3) 貸倒引当金()	107,533
(4) 貯蔵品	45,146
3 繰延資産	-
負債合計	16,508,405
1 固定負債	9,778,030
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,193,739
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,500,000
(6) 引当金	1,975,930
(7) リース債務	108,361
2 流動負債	5,508,108
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	561,275
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	348,779
(6) リース債務	34,954
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,552,465
(9) 前受金及び前受収益	1,729
3 繰延収益	1,222,267
(1) 長期前受金	1,846,901
(2) 長期前受金収益化累計額()	624,634
資本合計	2,407,101
1 資本金	6,199,592
2 剰余金	-3,792,491
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,792,491
負債・資本合計	18,915,506
不良債務	1,716,823
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,089,660	1,030,176
資本勘定繰入	476,833	17,144
計	1,566,493	1,047,320

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	1,716,823	15.2
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	藤沢市
	病院名	藤沢市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	530	87.6	85.7	89.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	536	86.6	84.8	88.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	11.6	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	423,894	
決算規模(千円)	137,040,821	
標準財政規模(千円)	81,984,915	
財政力指数	1.05	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.8
	将来負担比率(%)	18.3

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	69,957 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地
診療科数	34	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.0
修正医業収支金額(千円)	15,956,425

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,772,492			
1 経常収益	17,770,548			
(1) 医業収益	16,560,925			
入院収益	10,739,604			
外来収益	4,781,840			
診療収入計	15,521,444			
その他医業収益	1,039,481			
(うち他会計負担金)	604,500			
(2) 医業外収益	1,209,623			
(うち国・都道府県補助金)	89,854			
(うち他会計補助・負担金)	966,065			
(うち長期前受金戻入)	29,962			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,944			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,883,691			
2 経常費用	17,393,154			
(1) 医業費用	16,614,226			
職員給与費	8,308,536	50.2	54.5	49.7
材料費	4,159,887	25.1	24.1	27.4
(うち薬品費)	2,087,590	12.6	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,949,311	11.8	11.0	12.6
減価償却費	882,616	5.3	9.0	8.6
経費	3,185,117	19.2	23.3	20.4
(うち委託料)	1,798,427	10.9	10.8	11.0
研究研修費	45,997			
資産減耗費	32,073			
(2) 医業外費用	778,928			
(うち支払利息)	105,708	0.6	1.9	1.7
(3) 特別損失	490,537			
損益				
経常損益	377,394			
純損益	-111,199			
累積欠損金	870,281			
経常収支比率	102.2		98.7	100.0
医業収支比率	99.7		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	8.8		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	93.1		86.8	90.9

備考:
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,849,549
1 固定資産	16,209,022
(1) 有形固定資産	14,687,978
(2) 無形固定資産	650,731
(3) 投資その他の資産	870,313
2 流動資産	6,640,527
(1) 現金及び預金	3,861,129
(2) 未収金及び未収収益	2,737,336
(3) 貸倒引当金()	26,579
(4) 貯蔵品	58,541
3 繰延資産	-
負債合計	14,086,233
1 固定負債	10,925,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,312,434
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,505,687
(7) リース債務	107,627
2 流動負債	2,451,122
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	272,881
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	573,353
(6) リース債務	30,730
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,479,681
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	709,363
(1) 長期前受金	2,041,021
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,331,658
資本合計	8,763,316
1 資本金	9,575,890
2 剰余金	-812,574
(1) 資本金剰余金	57,707
(2) 利益剰余金	-870,281
負債・資本合計	22,849,549
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,671,467	1,570,565
資本勘定繰入	-	-
計	1,671,467	1,570,565

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	小田原市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,393 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
診療科数	25	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	417	78.4	82.5	79.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	78.4	82.5	79.7
平均在院日数（一般病床のみ）		11.6	11.8	12.2

設立団体の状況		
人口（人）	194,086	
決算規模（千円）	68,856,897	
標準財政規模（千円）	37,403,950	
財政力指数	0.96	
経常収支比率（%）	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	6.2
	将来負担比率（%）	11.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	89.1
修正医業収支金額（千円）	10,556,969

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,080,858			
1 経常収益	11,980,858			
(1) 医業収益	10,765,146			
入院収益	7,509,805			
外来収益	2,928,968			
診療収入計	10,438,773			
その他医業収益	326,373			
(うち他会計負担金)	208,177			
(2) 医業外収益	1,215,712			
(うち国・都道府県補助金)	51,337			
(うち他会計補助・負担金)	1,091,823			
(うち長期前受金戻入)	11,035			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	100,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,451,163			
2 経常費用	12,278,109			
(1) 医業費用	11,852,356			
職員給与費	5,688,054	52.8	54.5	53.1
材料費	2,773,855	25.8	24.1	25.1
(うち薬品費)	1,422,696	13.2	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,350,058	12.5	11.0	11.8
減価償却費	594,042	5.5	9.0	8.8
経費	2,762,094	25.7	23.3	21.3
(うち委託料)	1,078,485	10.0	10.8	8.7
研究研修費	25,829			
資産減耗費	8,482			
(2) 医業外費用	425,753			
(うち支払利息)	14,187	0.1	1.9	1.8
(3) 特別損失	173,054			
損益				
経常損益	-297,251			
純損益	-370,305			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.6		98.7	98.7
医業収支比率	90.8		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	10.8		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	87.0		86.8	88.4

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	10,414,155
1 固定資産	6,727,249
(1) 有形固定資産	6,494,165
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	233,084
2 流動資産	3,686,906
(1) 現金及び預金	1,628,989
(2) 未収金及び未収収益	2,046,692
(3) 貸倒引当金（ ）	15,966
(4) 貯蔵品	27,191
3 繰延資産	-
負債合計	4,429,019
1 固定負債	2,195,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	882,689
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	481,606
(7) リース債務	830,976
2 流動負債	2,084,564
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	353,148
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	322,875
(6) リース債務	217,957
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,177,981
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	149,184
(1) 長期前受金	497,003
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	347,819
資本合計	5,985,136
1 資本金	4,872,663
2 剰余金	1,112,473
(1) 資本金剰余金	176,813
(2) 利益剰余金	935,660
負債・資本合計	10,414,155
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,698,677	1,300,000
資本勘定繰入	296,269	-
計	1,994,946	1,300,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	茅ヶ崎市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	27,444 m ²	指定病院の状況	救臨 災地
診療科数	24	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	401	74.6	74.9	75.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	401	74.6	74.9	75.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	12.0	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	239,348	
決算規模(千円)	72,641,071	
標準財政規模(千円)	40,032,573	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.3
	将来負担比率(%)	44.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,598,510			
1 経常収益	10,515,895			
(1) 医業収益	9,523,478			
入院収益	5,959,219			
外来収益	2,767,468			
診療収入計	8,726,687			
その他医業収益	796,791			
(うち他会計負担金)	479,443			
(2) 医業外収益	992,417			
(うち国・都道府県補助金)	22,119			
(うち他会計補助・負担金)	551,935			
(うち長期前受金戻入)	342,883			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	82,615			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,658,676			
2 経常費用	10,612,082			
(1) 医業費用	10,064,330			
職員給与費	5,293,039	55.6	54.5	53.1
材料費	2,018,412	21.2	24.1	25.1
(うち薬品費)	916,499	9.6	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,033,263	10.8	11.0	11.8
減価償却費	765,159	8.0	9.0	8.8
経費	1,946,328	20.4	23.3	21.3
(うち委託料)	1,060,675	11.1	10.8	8.7
研究研修費	25,075			
資産減耗費	16,317			
(2) 医業外費用	547,752			
(うち支払利息)	164,879	1.7	1.9	1.8
(3) 特別損失	46,594			
損益				
経常損益	-96,187			
純損益	-60,166			
累積欠損金	2,866,472			
経常収支比率	99.1		98.7	98.7
医業収支比率	94.6		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	10.8		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	9.7		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	89.4		86.8	88.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,804,047
1 固定資産	11,101,992
(1) 有形固定資産	10,837,204
(2) 無形固定資産	1,803
(3) 投資その他の資産	262,985
2 流動資産	6,702,055
(1) 現金及び預金	5,197,764
(2) 未収金及び未収収益	1,528,277
(3) 貸倒引当金()	94,342
(4) 貯蔵品	70,356
3 繰延資産	-
負債合計	13,508,316
1 固定負債	11,115,895
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,225,639
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,869,648
(7) リース債務	20,608
2 流動負債	1,916,216
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	582,816
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	309,860
(6) リース債務	6,441
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	973,164
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	476,205
(1) 長期前受金	4,148,938
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,672,733
資本合計	4,295,731
1 資本金	5,383,112
2 剰余金	-1,087,381
(1) 資本剰余金	1,779,091
(2) 利益剰余金	-2,866,472
負債・資本合計	17,804,047
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.9
修正医業収支金額(千円)	9,044,035

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,017,678	1,031,378
資本勘定繰入	748,615	389,342
計	1,766,293	1,420,720

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	三浦市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,349 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	136	88.6	86.6	85.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	136	88.6	86.6	85.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	13.6	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	45,289	
決算規模(千円)	16,109,739	
標準財政規模(千円)	10,012,730	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	101.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.0
	将来負担比率(%)	184.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.5
修正医業収支金額(千円)	2,296,264

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,603,148			
1 経常収益	2,603,148			
(1) 医業収益	2,447,716			
入院収益	1,448,394			
外来収益	692,947			
診療収入計	2,141,341			
その他医業収益	306,375			
(うち他会計負担金)	151,452			
(2) 医業外収益	155,432			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	99,731			
(うち長期前受金戻入)	22,484			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,530,203			
2 経常費用	2,529,952			
(1) 医業費用	2,403,344			
職員給与費	1,237,710	50.6	54.5	58.9
材料費	288,424	11.8	24.1	18.0
(うち薬品費)	128,893	5.3	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	158,783	6.5	11.0	7.4
減価償却費	172,337	7.0	9.0	9.6
経費	668,013	27.3	23.3	30.8
(うち委託料)	274,300	11.2	10.8	12.1
研究研修費	31,626			
資産減耗費	5,234			
(2) 医業外費用	126,608			
(うち支払利息)	50,587	2.1	1.9	2.0
(3) 特別損失	251			
損益				
経常損益	73,196			
純損益	72,945			
累積欠損金	694,553			
経常収支比率	102.9		98.7	98.1
医業収支比率	101.8		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	93.0		86.8	83.3

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,020,508
1 固定資産	3,087,794
(1) 有形固定資産	3,041,181
(2) 無形固定資産	443
(3) 投資その他の資産	46,170
2 流動資産	932,714
(1) 現金及び預金	351,009
(2) 未収金及び未収収益	577,513
(3) 貸倒引当金()	8,741
(4) 貯蔵品	10,267
3 繰延資産	-
負債合計	3,337,746
1 固定負債	2,641,999
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,591,517
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	50,482
(7) リース債務	-
2 流動負債	532,714
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	215,781
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	73,969
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	224,726
(9) 前受金及び前受収益	4,272
3 繰延収益	163,033
(1) 長期前受金	345,521
(2) 長期前受金収益化累計額()	182,488
資本合計	682,762
1 資本金	1,377,315
2 剰余金	-694,553
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-694,553
負債・資本合計	4,020,508
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	362,525	251,183
資本勘定繰入	123,683	123,683
計	486,208	374,866

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	厚木市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,266 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災		
診療科数	27	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	303	80.7	80.5	81.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	309	79.1	80.3	81.2
平均在院日数（一般病床のみ）		10.1	10.3	11.3

設立団体の状況		
人口（人）	225,714	
決算規模（千円）	80,037,935	
標準財政規模（千円）	45,181,945	
財政力指数	1.09	
経常収支比率（%）	85.6	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	2.7
	将来負担比率（%）	58.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	76.6
修正医業収支金額（千円）	7,365,996

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,725,307			
1 経常収益	8,725,307			
(1) 医業収益	8,222,378			
入院収益	5,118,077			
外来収益	2,094,934			
診療収入計	7,213,011			
その他医業収益	1,009,367			
(うち他会計負担金)	856,382			
(2) 医業外収益	502,929			
(うち国・都道府県補助金)	26,563			
(うち他会計補助・負担金)	238,986			
(うち長期前受金戻入)	180,933			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,020,311			
2 経常費用	10,003,067			
(1) 医業費用	9,619,079			
職員給与費	4,349,321	52.9	54.5	55.3
材料費	1,752,282	21.3	24.1	24.2
(うち薬品費)	854,344	10.4	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	895,895	10.9	11.0	11.5
減価償却費	995,706	12.1	9.0	8.8
経費	2,484,614	30.2	23.3	21.7
(うち委託料)	1,200,854	14.6	10.8	10.3
研究研修費	24,206			
資産減耗費	12,950			
(2) 医業外費用	383,988			
(うち支払利息)	102,051	1.2	1.9	2.1
(3) 特別損失	17,244			
損益				
経常損益	-1,277,760			
純損益	-1,295,004			
累積欠損金	2,578,670			
経常収支比率	87.2		98.7	97.6
医業収支比率	85.5		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	12.6		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	76.3		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	17,339,981
1 固定資産	15,462,715
(1) 有形固定資産	14,209,624
(2) 無形固定資産	343,819
(3) 投資その他の資産	909,272
2 流動資産	1,877,266
(1) 現金及び預金	582,268
(2) 未収金及び未収収益	1,288,488
(3) 貸倒引当金（ ）	2,126
(4) 貯蔵品	8,636
3 繰延資産	-
負債合計	14,821,670
1 固定負債	12,371,359
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,655,768
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	624,691
(7) リース債務	90,900
2 流動負債	1,806,162
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	815,306
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	283,982
(6) リース債務	41,686
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	657,766
(9) 前受金及び前受収益	5
3 繰延収益	644,149
(1) 長期前受金	1,640,504
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	996,355
資本合計	2,518,311
1 資本金	1,734,683
2 剰余金	783,628
(1) 資本剰余金	3,300,298
(2) 利益剰余金	-2,516,670
負債・資本合計	17,339,981
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,097,697	1,095,368
資本勘定繰入	214,326	1,214,326
計	2,312,023	2,309,694

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	31.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	大和市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,111 m ²	指定病院の状況	救臨が 災 輪		
診療科数	28	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
D P C 対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	403	80.5	81.0	79.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	403	80.5	81.0	79.3
平均在院日数（一般病床のみ）		11.4	12.2	12.6

設立団体の状況		
人口（人）	232,922	
決算規模（千円）	76,431,822	
標準財政規模（千円）	40,356,281	
財政力指数	0.96	
経常収支比率（%）	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	1.3
	将来負担比率（%）	25.1

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,549,000			
1 経常収益	11,548,798			
(1) 医業収益	10,207,565			
入院収益	6,224,426			
外来収益	3,195,165			
診療収入計	9,419,591			
その他医業収益	787,974			
(うち他会計負担金)	311,348			
(2) 医業外収益	1,341,233			
(うち国・都道府県補助金)	18,897			
(うち他会計補助・負担金)	1,039,522			
(うち長期前受金戻入)	178,666			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	202			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,214,682			
2 経常費用	11,149,710			
(1) 医業費用	10,575,933			
職員給与費	4,986,194	48.8	54.5	53.1
材料費	2,493,520	24.4	24.1	25.1
(うち薬品費)	1,238,562	12.1	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,171,530	11.5	11.0	11.8
減価償却費	504,686	4.9	9.0	8.8
経費	2,564,126	25.1	23.3	21.3
(うち委託料)	845,583	8.3	10.8	8.7
研究研修費	20,213			
資産減耗費	7,194			
(2) 医業外費用	573,777			
(うち支払利息)	179,156	1.8	1.9	1.8
(3) 特別損失	64,972			
損益				
経常損益	399,088			
純損益	334,318			
累積欠損金	6,277,103			
経常収支比率	103.6		98.7	98.7
医業収支比率	96.5		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	13.2		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	11.7		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	91.5		86.8	88.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	12,402,013
1 固定資産	8,528,164
(1) 有形固定資産	8,089,826
(2) 無形固定資産	243,642
(3) 投資その他の資産	194,696
2 流動資産	3,873,849
(1) 現金及び預金	2,238,883
(2) 未収金及び未収収益	1,623,066
(3) 貸倒引当金（ ）	7,747
(4) 貯蔵品	19,647
3 繰延資産	-
負債合計	10,070,296
1 固定負債	5,743,251
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,091,243
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,652,008
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,955,655
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	604,390
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	313,205
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,037,299
(9) 前受金及び前受収益	261
3 繰延収益	2,371,390
(1) 長期前受金	6,539,237
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	4,167,847
資本合計	2,331,717
1 資本金	3,836,194
2 剰余金	-1,504,477
(1) 資本剰余金	4,772,626
(2) 利益剰余金	-6,277,103
負債・資本合計	12,402,013
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	93.6
修正医業収支金額（千円）	9,896,217

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,329,927	1,350,870
資本勘定繰入	445,223	2,700
計	1,775,150	1,353,570

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	61.5
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。